

慶南青年カレッジ 2015

	代表者	堀 美世里 (経済B2年)			
構成員	豊田 彩花 (人文B2年)	水元 愛香里 (人文B2年)	松永 聡子 (経済B2年)		
	孫 鳳基 (経済B2年)				

1. 概要

山口大学・山口県立大学生と韓国の釜山・慶南地域の大学生が夏は日本、冬は韓国で約1週間の相互理解交流を行う。日程はプロジェクト構成員が自主的に計画し、環境活動や平和活動、文化体験等を交えて進行していく。最終的に、相互理解のために必要なことは両国間の違いを埋め合うことではなく、違いを認め合ったうえでお互いを理解することであると認識してもらうことが可能である。

本年度の活動は、地方創生の視点から海岸環境と町の活性化の2点に注目しつつ、戦後70年と日韓国交正常化50周年の節目を意識した平和活動に重点を置いている。

2. 実施目的

両国の文化や価値観の違いを認識し、理解を深めていくことを目的とする。また、慶南青年カレッジは今年で23年目を迎え、学術交流協定を結ぶ学校の存在や参加者の留学・国際交流への参加の増加等の成果が得られている。そのため、この伝統を次世代の学生たちに繋げていくという形で山口大学創基200周年と関わり、未来の日韓交流の懸け橋となるよう継続的な活動の実施を目的としている。

3. 年間表

以下が本年度の年間活動表である。

表1 年間活動表

日程	活動場所	活動内容
5月	釜山・慶南地域 長門市	韓国人参加者を募る訪韓 日韓海峡海岸漂着ゴミ一斉清掃
6月	山口大学・山口県立大学 山口市	日本人参加者を募る茶話会 婦人会の方の謝恩会
7月	長門市 周南市大津島	通くじら祭り 回天記念館視察
8月	山口県・広島県	夏の活動 (日本)
9月	山口市	日本人参加者集会 (反省会及び交流)
10月	釜山	韓国人参加者集会 (反省会及び交流)
11月	山口市	日韓未来平和フォーラム
12月	山口市	活動場所の大掃除
1月	山口市	冬の活動についての説明会
2月	釜山・慶南地域	冬の活動 (韓国)

4. 活動報告

以下、年間活動表 (表1) の流れに沿った活動報告である。

4-1 韓国人参加者を募る訪韓、日韓海峡海岸漂着ゴミ一斉清掃

このプログラムに参加してくれる韓国側の学生を募るために4月29日～5月3日までの間、韓国を訪れ、昌原大学・慶尚大学・蔚山大学・仁済大学・釜山韓日文化交流協会の5カ所で、プレゼンテーションを行った。昨年の活動の様子を動画にまとめて上映したり、プレゼンテーションの後の交流会で折り鶴を一緒に折ったりした。

プレゼンテーションを行う度に、どのようにしたらもっと自分たちの考えが相手に分かりやすく伝わるか工夫することの大切を学ぶことができた。また、3Rについてのアンケート調査を行ったことで、後日行った環境フォーラムで日韓の3Rに対しての意識比較について発表することができた。

山口県の海岸状況を把握するために5月27日に日韓漂着ゴミ一斉清掃に参加した。私たちは回収したゴミのペットボトルについて調査を行った。今回、回収されたペットボトルを国別に分けると日本165本、韓国183本、中国22本、その他12本の計382本で、日本のものよりも韓国のものが多くあった。これは長門市が日本海側に面していることや、海流の影響が原因であるということが分かった。海岸に多く存在するゴミは地域課題の一つである。この課題を改善するために海にゴミを捨てないことの意識づけや、風でゴミが飛ばないように気を付けること、今後も継続して清掃活動が続けることが必要であるということがあげられる。そのため、私たちは海岸清掃活動も継続して行っていきたい。



訪韓でのプレゼンテーションの様子



回収したペットボトルの一部

4-2 コア会議、茶話会、婦人会

コア会議は週2~3回行った。会議では夏の活動を安全に実施できるように日程を組んでいった。その後、現地視察などを行い、更に日程を詰めていった。自分たちの経験を活かして各々が積極的に意見を出したり、行動を起こしたりすることで自発性を養うことができたと考えている。

チラシを作成して配布したり、大学構内に掲示したり、日本人参加者を募るために茶話会を3回実施したりした。茶話会では昨年の活動について簡単にパワーポイントを用いて説明を行い、その後コアがそれぞれ分かれて詳しい説明を行った。茶話会に参加してくれる学生の人数を増やすための広報活動を効率的に行うべきだったと感じた。その改善策として、チラシの配布・掲示を早めたり、SNSでの情報発信の回数を増やしたりすることが挙げられる。

6月20日には、昨年まで夏の活動の料理交流会でお世話になっていた山口市の婦人会の方への謝恩会を実施した。これまでの本プロジェクトの取り組みを紹介したり、山口の郷土料理について教えてもらったりした。夏の



コア会議の様子



婦人会の方々に紹介している様子

料理交流会を行うにあたって気を付けることや工夫すべき点をアドバイスしていただき、とても有意義な時間を過ごすことができた。また、山口県の郷土料理について知ることができ、夏の活動では料理交流会で日韓の参加者と一緒に作り、教えることで山口県の魅力を知ってもらうよい機会を提供することができたと感じた。

4-3 通くじら祭り，回天記念館視察

7月19日、韓国側のコアリーダー、サブリーダーとともに長門市で行われたくじら祭りに参加した。くじら祭りでは和船競争に参加し、日本側コアと韓国側のコア学生との交流を深めた。慶南青年カレッジ2014のOBの方にも参加していただいた。またくじら祭り参加後、漁師の方の家にホームステイさせていただき、様々なお話を聞かせていただいた。漁師さんから見た海の環境状態や海に関わる人々の変化は良好な方向へと進んでおり、特に海への不当投棄については漁師さん方自らが自分たちを省みて改善していく姿が見られた。また、夏の活動における地引網体験の打ち合わせをし、お互いが納得できる計画を練ることができた。

7月25日、周南市の回天記念館にコアスタッフで訪問させていただいた。2015年は戦後70年という節目の年であり、新たに今までとは違った視点で平和について考えることはできないかという思いから、毎年行っている原爆についての平和学習に加えて今回初めて回天について学ぶ機会を設けた。回天については知らないことも多く、また、身近に回天の訓練基地が存在するということが知らなかったコアにとって、回天記念館での学びは大きな衝撃であった。山口にいるからこそ伝えることができる平和がある、山口にいるからこそ伝えられる思いがあるということに気付くことができた回天記念館訪問だった。



和船競争の様子



回天跡地視察

4-4 夏の活動

夏の活動は表2のとおりである。

表2 夏の活動表

日程	活動場所	活動内容
8月19日(水)	美祢市	アイスブレイク・秋吉台見学・交流会
8月20日(木)	萩市	萩市内グループミッション・萩市立博物館見学
8月21日(金)	長門市	地引網体験・海岸ごみ清掃
8月22日(土)	*	一般宅ホームステイ
8月23日(日)	山口市	環境フォーラム・料理交流会・学生宅ホームステイ
8月24日(月)	広島市	平和記念資料館見学・語り部さん講話聴講
8月25日(火)	*	台風のため予定を変更しバス移動のみ・学生宅ホームステイ
8月26日(水)	美祢市	平和ディスカッション・文化レクリエーション
8月27日(木)	山口市・下関市	送迎会

①文化活動

8月19日(水)の秋吉台見学、8月20日(木)の萩市立博物館見学など山口市の文化に触れることができる活

動を行った。特に萩ではグループごとにミッションを行い、楽しみながら山口の歴史について学ぶとともに、お互いの交流を深めることができたように思う。

また、8月26日の文化レクリエーションでは、浴衣の着付け体験を行ったり、日韓の文化の違いを衣・食・住、学校生活から発見する文化ディスカッションを行ったりした。



萩ミッションの様子



文化ディスカッションの様子

②環境活動

8月21日(金)、5月に行った日韓海峡海岸漂着ゴミ一斉清掃での漂着ゴミ国別調査の結果から、ゴミ問題が一国に限られた問題ではないと考えた私たちは、参加者にもこの現状を実際に体験して認識してもらいたいと感じ、長門市海岸にて海岸清掃及び地引網による海底ゴミ調査を行った。この日の海岸清掃では粗大ゴミは比較的に少なかったが、石と石の間に割れたガラスのかけらや飲料容器等のゴミが多く見受けられ、中には海外の文字が入ったゴミも多く含まれていた。参加者は、自身の住む町の海岸にも海外のゴミが多く漂着していることを認識したと同時に、海は個々の国が所有しているものではなく全世界共通のものであるということも改めて感じたと述べていた。今後も、約1,500キロメートルの海岸を持つ海と面しているという山口の特徴を生かした活動で環境活動を行っていくことは、意味のあることだと感じた。

今回の海岸清掃では漂着ゴミが例年より少なく、ゴミ問題への関心と海岸清掃への理解が参加者に深く浸透したのか疑問に残るところがあった。そのため現状を伝えるのに適した写真を準備する等、今後は万全な態勢で活動に臨みたい。

8月23日(日)、5月から行ってきた環境活動及び21日の環境活動を総括する場として、山口市で一般公開による環境フォーラムを開催した。次世代を担う日韓の学生が両国共通の問題について議論し合うことで、再度この問題を見つめ直し、新たな解決策を導き実行することが出来ると期待して行った。5月に行った日韓海峡海岸漂着ゴミ一斉清掃や、21日に行った海岸清掃及び海底ゴミ調査の結果を踏まえて現状の環境問題とその改善点を班ごとに話し合い、発表し、誓いを立てる形で環境問題を掘り下げていった。誓いは葉型の紙に書き込んでもら



海岸清掃の様子



地引網による海底ゴミ調査の様子

い、それを木の幹型の紙に貼り付けることで「誓いの木」が完成するという形で取り行った。

一般公開で地域参加型のフォーラムとする予定であったが、宣伝が足りなかったために地域住民の参加が少数であったことが問題点として挙げられるため、宣伝に力を入れることを改善点として今後の活動に取り組みたい。



環境フォーラム話し合いの様子



誓いの木作成の様子

③平和活動

平和記念資料館を実際に訪れ見学し、韓国人原爆犠牲者慰霊碑にて黙祷、「原爆の子の像」にて千羽鶴の奉納を行った。また、被爆経験者である細川さんに当時の話を聞かせていただいた。その後、感じたことや考えたことを参加者同士で意見交換する「平和ディスカッション」を行った。ディスカッションの内容としてはまず、広島に原爆が投下された当時の状況や、このような戦争が起きた原因についての知識を復習し、7~8人のグループに分かれて「今後私たちが平和のためにできること」というテーマをもとに話し合った。つぎに班ごとに意見をまとめ、模造紙を使って発表をした。平和ディスカッションを通じて、日本人参加者にとっても韓国人参加者にとっても、お互いの戦争と原爆に対する知識や意見を知ること、さらに今後自分たちが平和のためにどのような行動をすればよいかを明確化する良い機会とすることができた。



平和ディスカッション

4-5 日本人参加者集会

9月25日に夏の活動の反省会及び懇親会を日本側の参加者と一緒に行った。この日はインターネットを利用して韓国側学生とテレビ電話をしてお互いの近況報告なども行った。それぞれが活動を振り返り、自分の考えを人に伝えることや、改善策を考え出すことができた。更に冬の活動に向けての話し合いを行うことで、モチベーションの向上、参加者同士の親睦を深める良い機会ともなった。また夏の活動で記録した写真のスライドショーを上映し、より一層思い出話に花を咲かせた。



反省会及び懇親会の様子

4-6 韓国人参加者集会

10月10日から12日の間、韓国側のコアと反省会及び冬の活動の打ち合わせを行うために訪韓した。夏の活動を終えて、韓国側と日本側の文化認識の差を認め合っていくためにどのような活動をしていくべきか改善策を一緒に考え、また冬の活動で行いたいことについてのプレゼンなど活発な話し合いを行うことができた。また、冬の活動まで期間が空くことや今年度が日韓国交正常化50周年、戦後70年という節目の年であることから11月に平和活動の一環として「平和フォーラム」を初めて開催することが決まった。



韓国で行った反省会の様子

4-7 日韓未来平和フォーラム

一般の方やOB・OGの方を招待し、夏の活動内容と活動を通じて私たちが学んだことのまとめを発表した。その後発表に対する感想を、日本人参加者と韓国人参加者各一人に述べてもらった。活動を通じて学んだことについての発表は、広島での平和学習と周南市の回天記念館訪問にわけて進めた。平和学習の発表は主に、韓国人参加者と日本人参加者の平和学習を終えての平和に対する意見をいくつかスライドで紹介した。回天記念館訪問の発表では、まず序盤に回天について一通り説明した後、このフォーラムの前日に回天記念館を韓国人参加者とともに再び訪問した際の様子を発表した。回天については日本人参加者を含め存在を知っている人が少なく、平和学習の大切さ、戦争での出来事を風化させないことの大切さ、今この平和な世の中で生きられることを感謝する気持ちを忘れない大切さを改めて痛感した。発表後はグループに分かれて、「今の日韓関係において何が足りないか、何が必要か」について話し合い、その後、「日韓の学生が考える平和のための宣言」を各グループに発表してもらった。このフォーラムを通して、多くの学びや気づきを得ることができたと思う。このフォーラムで気づき学んだ参加者が、10年後の戦後80年においても後の世代に平和について語り継いでくれることを切に祈る。



平和学習まとめ発表



グループ学習

4-8 大掃除

母屋（いつもコアが作業を行なっている場所）の大掃除をした。また、来年のコアがスムーズに活動の準備を進めることができるように、自分たちが作った資料の確認と整理・整頓を行った。資料は、自分たちが経験したうえで学んだことや来年に活かしてほしい知識を集めたものであり、来年度に引き継いでいけるよう、わかりやすくまとめておいた。

さらに、部屋のレイアウトを変えたり新しいラグを取り入れたり、資料や備品を見つけやすくするためにできる限りの工夫もした。作業を行うなかで1年間の出来事の振り返りや、あらゆる作業の場として活用させていただいたことへの感謝の気持ちを改めて感じることができ、次の年の慶南青年カレッジもより良いものになるといいなと思った。



大掃除

4-9 冬の活動の説明会

冬の活動の参加者を集めて説明会を行った。冬の活動内容とタイムスケジュール、持ち物や備考などを参加者全員で確認し、2月に向けて準備をした。

4-10 冬の活動

冬の活動は表3のとおりである。

冬の活動は韓国側学生主催で2月21日から2月27日までの1週間、韓国の釜山・慶南地域で行われた。全日程は表3の通りである。冬の活動は、主に韓国の歴史について学ぶことが出来るよう日程が組まれていたため、船内では韓国の地理や歴史についての事前学習を行った。釜山では学生宅ホームステイを行ったり、韓国文化体験として韓服を着たりと教科書では習わなかったような他国の文化に触れ、理解する場が設けられていた。歴史文化都市である慶州では、戦後韓国に残留している方の施設である「慶州ナザレ園」を訪問したり、博物館で歴史学習をしたり、韓国の伝統飴作り体験をしたりと主に歴史に深く触れ合う機会が多く設けられていた。

冬の活動は夏の活動で時間を共にした参加者との再会や交流、他国に触れ合う場としての機能があるため夏の活動と揃ってこそ意味があると私たちは考えている。今回は冬の活動に参加できなかった参加者もいたが、そのような事態を考慮して夏により多くの参加者を招待することを今後の改善点としていきたい。

表3 冬の活動表

日程	活動場所	活動内容
2月21日(日)	下関市	出国(交通手段: 関釜フェリー) / 事前学習
2月22日(月)	釜山	日程案内 / 学生宅ホームステイ
2月23日(火)	釜山	韓国歴史学習 / 韓国文化体験
2月24日(水)	慶州	慶州ナザレ園訪問 / 歴史文化都市見学
2月25日(木)	慶州	韓国歴史学習 / 韓国伝統文化体験
2月26日(金)	釜山	釜山散策 / 送別会
2月27日(土)	下関市	入国(交通手段: 関釜フェリー)



釜山博物館



ナザレ園

5. 今後の活動

本年度の慶南青年カレッジの活動は例年特に力を入れていた環境活動に加え、平和活動にも重点を置いて行った。戦後70年と日韓国交正常化50周年という節目の年であったが、これに限らず今後も平和活動について触れていくことが大切であると感じる。山口の特性を生かした環境活動と共に、平和活動の方にも力を注いで今後の活動は取り組んでいきたい。